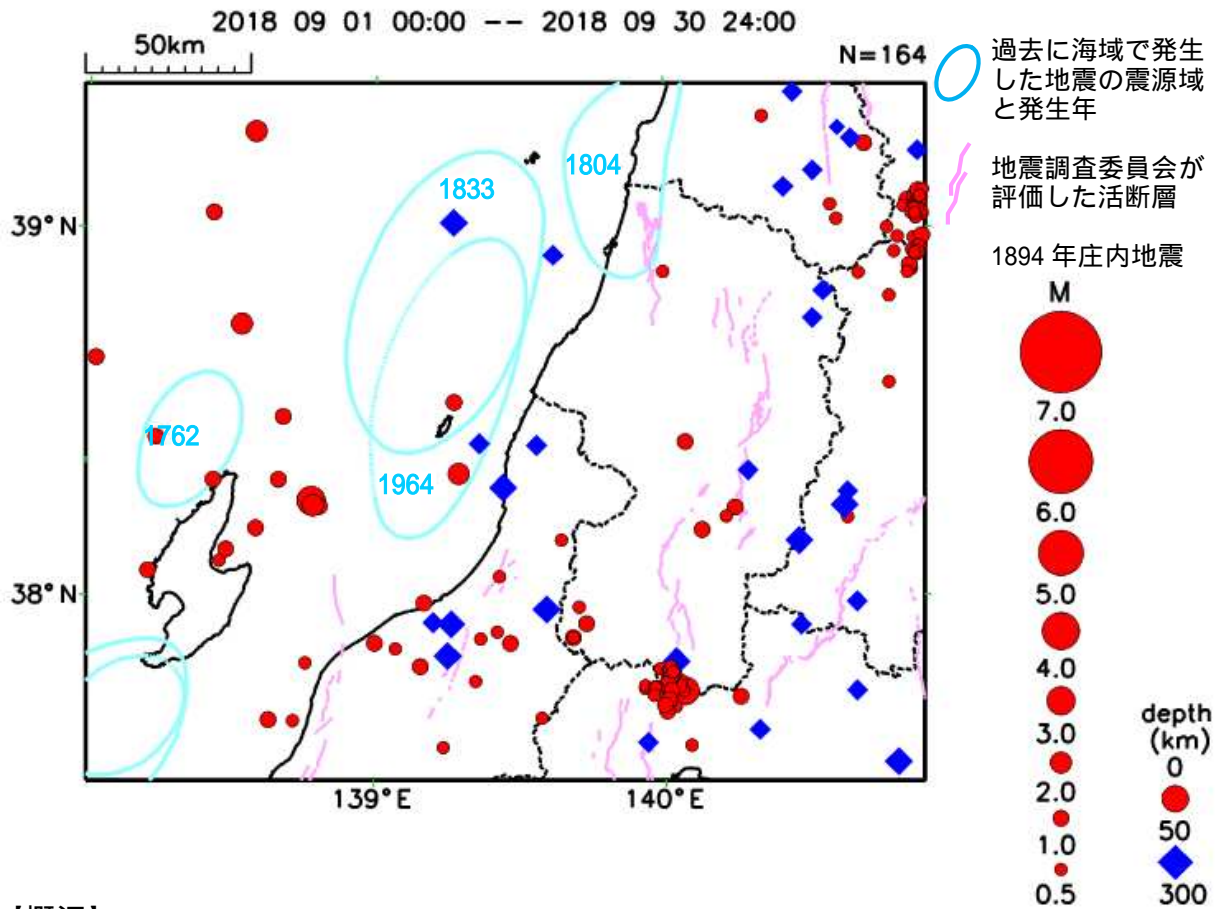


山形県月間地震概況（2018年9月）

山形地方気象台



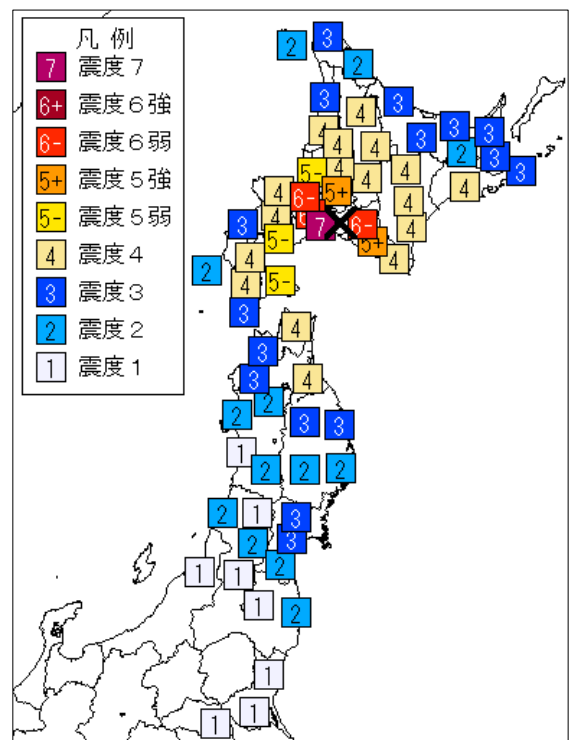
【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は164回であった。また、期間中に県内で震度1以上を観測した地震は7回(前期間4回)であった。

6日03時07分に、北海道胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震が発生し(右図)、北海道厚真町で最大震度7を観測したほか、北海道から関東地方にかけてと新潟県で震度6強～1を観測した。この地震では、死者41名、重軽傷者691名など多くの人的被害が発生し、建物も住家全壊394棟、住家半壊1,016棟などの大きな被害があった(平成30年10月5日現在、総務省消防庁による)。県内では庄内と村山で震度2を観測したほか、広い地域で震度1を観測した。なお、気象庁ではこの地震について「平成30年北海道胆振東部地震」と名称を定めた。この地震の震源付近では、6日06時11分にもM5.4の地震が発生し、北海道で震度5弱を観測するなど、地震活動が活発となった。これらの地震は地殻内で発生した。

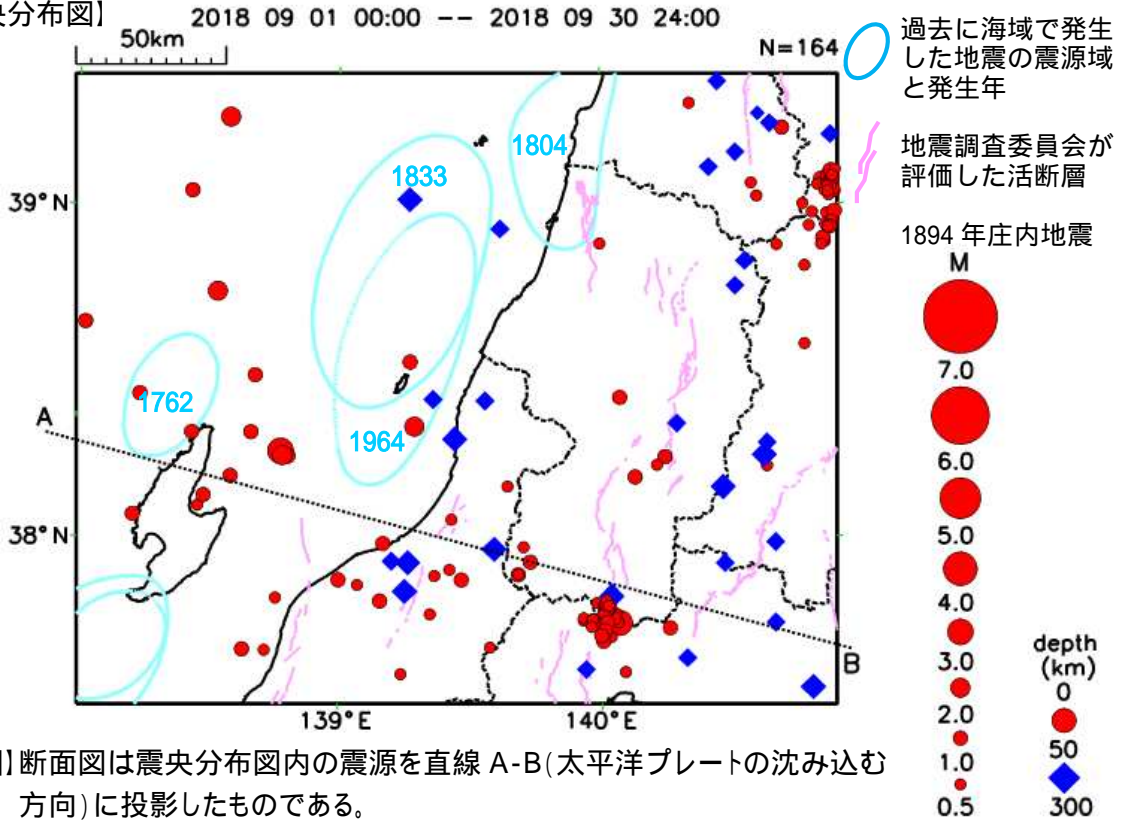
本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

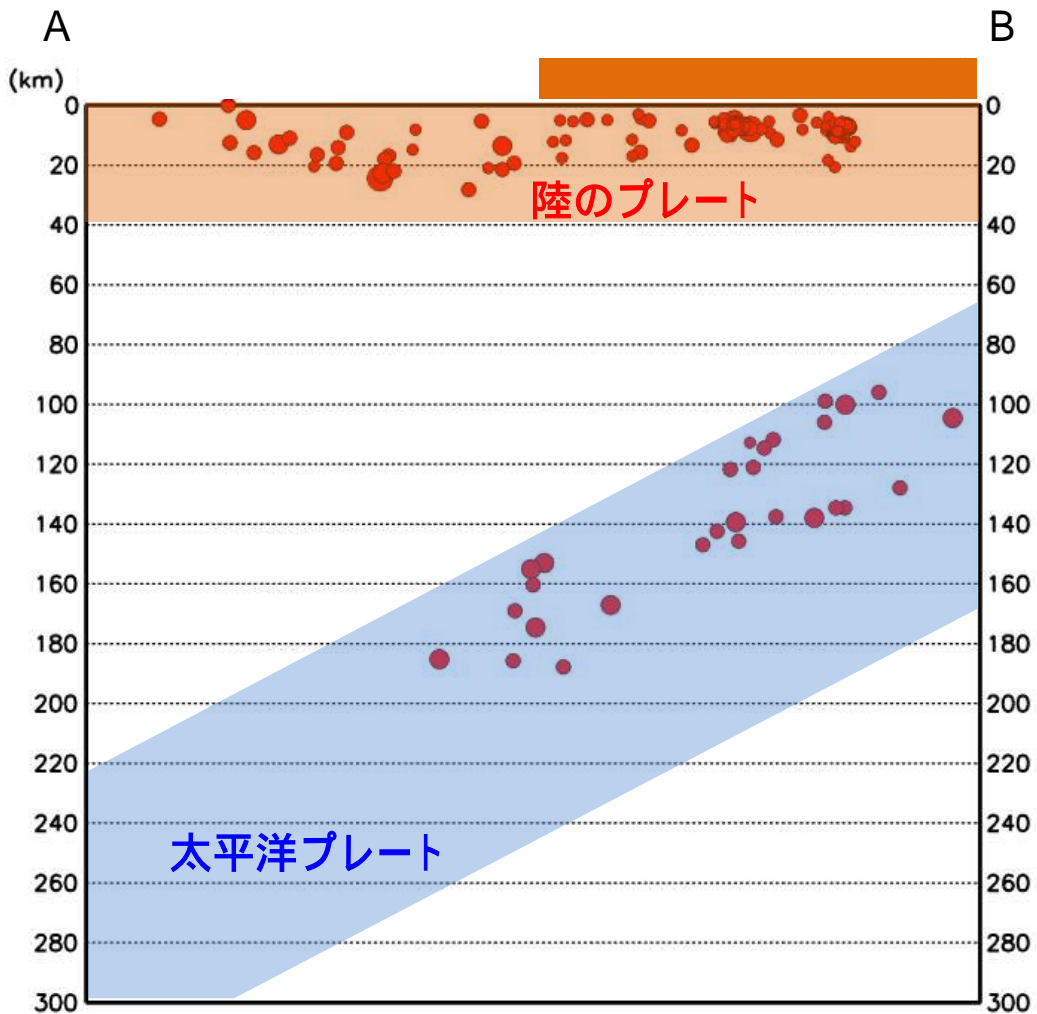


6日03時07分に北海道胆振地方中東部で発生した地震(M6.7)の震央(x)と地域震度

【震央分布図】



【断面図】断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

は陸地の大まかな位置を示している。

陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度1以上を観測した地震の表

今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2018年9月1日～2018年9月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2018年09月02日01時31分	福島県会津	37° 44.6' N	140° 03.9' E	8km	M3.3
山形県	震度1 : 米沢市駅前 米沢市林泉寺*		飯豊町上原*		
2018年09月05日05時11分	茨城県沖	36° 28.5' N	141° 20.2' E	60km	M5.5
山形県	震度2 : 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺*				
	震度1 : 最上町向町* 上市市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 東根市中央*				
	山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町谷地 河北町役場* 西川町大井沢*				
	山形朝日町宮宿* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市駅前 米沢市金池*				
	長井市ままの上* 南陽市三間通* 高畠町高畠* 山形川西町上小松*				
	山形小国町岩井沢 白鷹町黒鴨 飯豊町上原*				
2018年09月06日03時07分	胆振地方中東部	42° 41.4' N	142° 00.4' E	37km	M6.7
山形県	震度2 : 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 遊佐町遊佐 村山市中央* 中山町長崎*				
	震度1 : 鶴岡市藤島* 酒田市宮野浦* 酒田市山田* 酒田市本町* 三川町横山*				
	遊佐町舞鶴* 庄内町狩川* 庄内町余目* 新庄市東谷地田町 最上町向町*				
	舟形町舟形* 大蔵村清水* 鮭川村佐渡* 寒河江市中央* 上市市河崎*				
	天童市老野森* 山辺町緑ヶ丘* 河北町谷地 河北町役場* 米沢市林泉寺*				
2018年09月11日04時27分	福島県沖	37° 46.5' N	141° 05.6' E	71km	M4.0
山形県	震度1 : 中山町長崎* 河北町谷地 尾花沢市若葉町* 南陽市三間通*				
2018年09月14日14時35分	茨城県北部	36° 44.4' N	140° 36.5' E	7km	M4.9
山形県	震度1 : 上市市河崎* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 飯豊町上原*				
2018年09月19日01時21分	宮城県沖	38° 28.2' N	141° 35.9' E	57km	M5.0
山形県	震度1 : 天童市老野森* 東根市中央* 中山町長崎* 河北町谷地 河北町役場*				
	尾花沢市若葉町* 大石田町緑町*				
2018年09月25日12時31分	宮城県沖	38° 43.1' N	142° 15.3' E	39km	M4.6
山形県	震度1 : 中山町長崎* 尾花沢市若葉町*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成している。

自分の身を守る訓練をしましょう

気象庁では、11月1日に緊急地震速報の訓練を実施します。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間はごくわずかで、その短い間に、慌てずに、その場の状況に応じた身を守る行動をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に、身を守る訓練を体験してみましょ。

緊急地震速報の訓練

訓練日時：平成30年11月1日（木曜日）午前10時00分頃

全国瞬時警報システム（Jアラート）設置機関や、緊急地震速報の専用受信端末設置機関のうち、訓練に参加する機関や施設で放送・報知されます。

訓練用の緊急地震速報は、テレビ、ラジオ（一部のコミュニティFM等は除く）の放送や、携帯電話、スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）では流れません。

訓練の方法

訓練の緊急地震速報の放送・報知にあわせて、安全な場所に移動するなどの身の安全を守る行動を行ってください。

お住まいの近くに訓練を実施する機関や施設が無い場合、気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使って行うことも出来ます。

緊急地震速報訓練参加機関や、訓練用動画のダウンロードは以下のページでご確認ください。
気象庁ホームページ 緊急地震速報訓練のページ

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

シェイクアウト訓練

緊急地震速報の訓練では、地震から身を守るための3つの安全行動（姿勢を低く、頭を守って、揺れが収まるまでじっとする）を身につけるシェイクアウト訓練が注目されています。



イラスト提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

詳細は「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」ホームページを確認願います。

<http://www.shakeout.jp/>